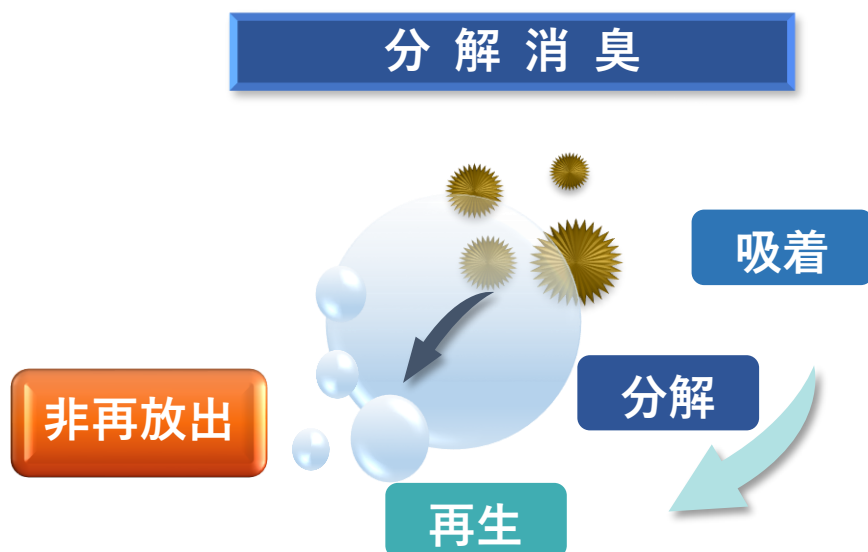


コンパウンド用 VOC / VSC / VOSC 消臭添加剤

【分解型消臭剤】

一般的な吸着/捕捉/マスク型消臭剤とは異なり、化学反応を利用して悪臭成分を分解除去します。同時に有効成分が再生し、悪臭成分が再放出する事なく効果が持続します。



■製品一覧

項目 品名	VOC (アルデヒド系)	VSC (硫黄系)	VBN (アミン系)
VOC 「O-460」	●		●
VSC 「S-34」 「S-028」 「S-002」		●	●
VOSC 「OS-310」	●	●	●

コンパウンド用消臭添加剤

O - 460

VOC / VBN 消臭分解剤



■ 特長

化学的分解消臭により、ホルムアルデヒドやアセトアルデヒドなどのVOCの他、アンモニアなどのアミン系や、酢酸などの脂肪酸系の臭気も効果的に分解除去をすることが出来ます。

■ 特性

品名	項目	外観	粒径(d50)	適応樹脂	荷姿
O-460		白色粉末	460 μ m	PE,PP,汎用オレフィン,エンブ [®] ラ等	1, 10kg

■ 消臭性能

【消臭性確認試験方法】

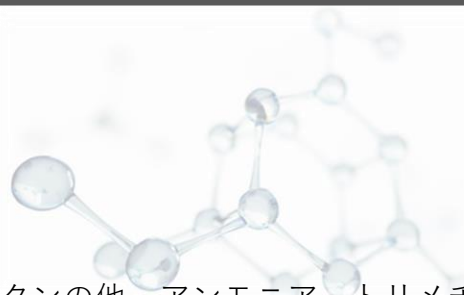
試料(粉体)1gを5Lバッグに入れ、臭気ガス3Lを封入し、経過時間後の濃度をガス検知管で測定。

	初発濃度 (ppm)	30min	60min	120min	24h
ホルムアルデヒド	24	99.16%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
アセトアルデヒド	100	80.00%	87.00%	95.00%	99.50%
アンモニア	100	99.00%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
トリメチルアミン	28	99.10%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
ピリジン	14	97.70%	98.60%	下限値以下	下限値以下
酢酸	40	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
イソ吉草酸	15	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
硫化水素	20	0.00%	5.00%	10.00%	93.50%
メチルメルカプタン	15	33.33%	33.33%	33.33%	33.33%
フルフラール	25	98.00%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
フルフリルアルコール	25	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下

コンパウンド用消臭添加剤

S シリーズ

VSC / VBN 消臭分解剤



■ 特長

化学的分解消臭により硫化水素、メチルメルカプタンその他、アンモニア、トリメチルアミン等のアミン系の臭気も分解消臭が可能です。

■ 特性

品名	項目	外観	粒径(d50)	適応樹脂	荷姿
S-34		白色粉末	34 μ m	PE,PP,汎用ホフイン,エンブ [®] ラ等	1, 10kg
S-028(微粒)		白色粉末	0.28 μ m	PE,PP,汎用ホフイン,エンブ [®] ラ等	1, 10kg
S-002(ナノ)		白色粉末	20nm	PE,PP,汎用ホフイン,エンブ [®] ラ等	1, 10kg

■ 消臭性能

【消臭性確認試験方法】

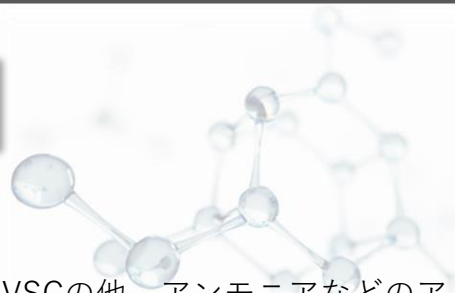
試料(粉体) 1gを5Lバッグに入れ、臭気ガス3Lを封入し、経過時間後の濃度をガス検知管で測定。

	初発濃度 (ppm)	30min	60min	120min	24h
ホルムアルデヒド	24	86.66%	87.50%	87.50%	86.66%
アセトアルデヒド	100	30.00%	36.00%	38.00%	38.00%
アンモニア	100	99.72%	99.80%	99.80%	99.90%
トリメチルアミン	28	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
ピリジン	14	96.42%	97.71%	98.57%	98.57%
酢酸	40	下限値以下	下限値以下	98.50%	99.37%
イソ吉草酸	15	97.50%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
硫化水素	20	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
メチルメルカプタン	15	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
フルフラール	25	96.00%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
フルフリルアルコール	25	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下

※試験結果についてはS-34の結果です

コンパウンド用消臭添加剤 OS - 310

VOC / VSC / VBN 消臭分解剤



■ 特長

VOC及びVSCの混合臭を分解消臭します。VOC、VSCの他、アンモニアなどのアミン系や脂肪酸など幅広い消臭に優れた分解剤です。

■ 特性

品名	項目	外観	粒径(d50)	適応樹脂	荷姿
OS-310		白色粉末	310 μ m	PE,PP,汎用MFイン,エン [®] ラ等	1, 10kg

■ 消臭性能

【消臭性確認試験方法】

試料(粉体) 1gを5Lバッグに入れ、臭気ガス3Lを封入し、経過時間後の濃度をガス検知管で測定。

	初発濃度 (ppm)	30min	60min	120min	24h
ホルムアルデヒド	24	99.80%	99.80%	下限値以下	下限値以下
アセトアルデヒド	100	55.00%	58.00%	60.00%	99.50%
アンモニア	100	99.20%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
トリメチルアミン	28	99.50%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
ピリジン	14	97.70%	98.30%	下限値以下	下限値以下
酢酸	40	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
イソ吉草酸	15	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
硫化水素	20	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下
メチルメルカプタン	15	94.66%	96.66%	98.40%	99.33%
フルフラール	25	96.00%	下限値以下	下限値以下	下限値以下
フルフリルアルコール	25	下限値以下	下限値以下	下限値以下	下限値以下

Q & A

?

コストをかけてニオイを消す必要性は？

「悪臭＝有害物質」と考えられますので、吸着で一時的に低減してもマスキングの芳香成分でごまかしても、臭気を無くしないと根本的な解決になりません。

!

?

消臭効果の持続性は？

製品中から溶出する臭気をすべて分解した場合、理論上は抑制効果が永続します。
(吸着タイプが再放出しニオイ戻りしてしまう点との違いです。)

!

?

対象臭気が分解された後、何に変化しているの？

基本的には、水と二酸化炭素に変えていくイメージですが、低減臭気によっては、それ以外の何かが発生することもあります。

!

?

消臭剤の推奨添加量は？

低減したい臭気の現状値と目標値を数値化していないため、推奨としての設定が難しいです。

当社で臭気分析（溶出試験）も受託しておりますので詳細は別途お問合せください。

!

?

どんな企業へ提案すればよい？

「このニオイが消えたらいいな」よりも
「このニオイを消さなければいけない」という
危機感がある企業の方が、ご興味を持っていただけます。

!